

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	11	図書館維持管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	118,233千円	108,679千円	117,898千円	0千円
	総人件費	3,663千円	3,577千円	3,554千円	
	総事業コスト	121,896千円	112,256千円	121,452千円	

事務事業名	01	図書館及び視聴覚センターの維持管理事業	指標名	-				指標種別	-												
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		-								
戦略プラン	-		実績	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標		-								
	-		H29年度				H30年度														
総合戦略	-		改善目標	図書館及び視聴覚センターを利用者が安全に快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。				改善目標	図書館及び視聴覚センターを利用者が安全に快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。												
	-		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス清掃及び施設設備管理業務</li> <li>・警備業務</li> <li>・植栽管理業務委託</li> <li>・アルス熱源切替バルブ交換修繕工事</li> <li>・アルス還水ポンプ・還水槽交換修繕工事</li> <li>・アルス中央監視装置部品交換修繕工事</li> <li>・アルス電力計交換修繕工事</li> <li>・図書館空調機修繕工事</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス清掃及び施設設備管理業務</li> <li>・警備業務</li> <li>・植栽管理業務委託</li> <li>・アルス高圧ケーブル修繕工事</li> <li>・アルス分電盤修繕工事</li> <li>・アルス放送設備修繕工事</li> <li>・アルス冷温水ヘッダー差音調整弁制御盤変更修繕</li> </ul>				事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初				
	-			活動実績	アルス清掃及び施設設備管理業務・警備業務・植栽管理業務委託等及びアルス熱源切替バルブ交換修繕工事・アルス還水ポンプ交換修繕工事・アルス中央監視装置部品交換修繕工事・アルス電力計交換修繕工事・図書館空調機修繕工事・その他修繕についてはほぼ計画とおりに執行することができた。				上半期活動実績	-				事業費(A)		118,233千円	108,679千円	117,898千円	0千円		
市長公約	-		事業計画					上半期成果					国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円			
個別計画	-												県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円			
根拠法令等	-		成果	アルス清掃及び施設設備管理業務委託等及びアルス熱源切替バルブ交換修繕工事・その他修繕についてはほぼ計画通りに執行し、市民が安全で快適に使用できるよう適切な維持管理を行うことができた。				課題	施設設備は、年数が増すごとに老朽化の度合いを増してくるので、今後修繕箇所が増加してくると考えられる。これに優先順位をつけ、計画的に適切に対応する必要がある。				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円			
	事業分類	F 施設等維持管理事業											その他特財		32,332千円	32,954千円	32,626千円	0千円			
執行体制	一部委託		課題					課題					一般財源		85,901千円	75,725千円	85,272千円	0千円			
事業の目的	市民の生涯学習の拠点である、中央図書館及び視聴覚センターを安全で快適に使用できるよう、適切な維持管理を行うこと。												人件費(B)		3,663千円	3,577千円	3,554千円				
事業の概要	年間を通しての施設・設備の維持管理業務委託等及び施設・設備修繕必要箇所の修繕工事等の施工等を行い、安全で使いやすい施設の維持管理に努める。主なものはアルス冷却塔交換修繕工事、アルス地下排水ポンプ交換修繕工事等である。		評価	有効性 中：適切な成果が得られている				評価	有効性 -				H31年度当初積算根拠		H31年度当初積算根拠		-		理由 -		
	ISO 14001	H29 環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-									改善目標の進捗状況
		H30 環境関連性		効率性 中：適切な費用対効果が得られている				効率性 -													
				総合評価 B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	01	読書推進事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-							
	-		実績	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-			読書推進及び図書館利用促進に向け、ホームページや学び舎等により事業の広報をし、多くの参加者を募る。				引き続き読書推進及び図書館の利用促進を図るため、ホームページ等による広報を行い、関連事業参加者を増やす。										
	-																	
市長公約	-		事業計画									事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-			・わくわくランド事業 ・ファーストブック講座 ・出前講座				・わくわくランド事業 ・ファーストブック講座 ・出前講座				事業費(A)	0千円	0千円	16千円	0千円		
根拠法令等	特になし											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	A 任意的事业		活動実績									県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ			・わくわくランド事業 5月6日 ・ファーストブック講座 3月11日, 17日 ・出前講座 8件				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	年代に対応した事業を数多く開催することによって、読書活動の推進と図書館利用の推進を図るため。							上半期活動実績				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	＜わくわくランド事業＞ こども読書週間にあわせ低年齢者向けの事業(おはなし会, パネルシアター等)を開催する。 ＜ファーストブック講座＞ 赤ちゃんと保護者が絵本を通じて、ふれあうことの楽しさを伝え、子育てに絵本を活用するきっかけを作る。		成果	読書推進及び図書館利用促進活動ができた。				上半期成果				一般財源	0千円	0千円	16千円	0千円		
				課題	事業参加者向けに、広報活動を広く行う。				課題				人件費(B)	3,716千円	3,562千円	3,580千円		
													正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	
ISO 14001	H29 環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	時間外勤務	20.00時間	3.00時間	10.00時間		
	H30 環境関連性	-		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		臨時職員等	無	無	無			
					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		事業コスト(A+B)	3,795千円	3,562千円	3,596千円		
				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		H31年度当初積算根拠	-					
												H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	02 自動車図書館の運営事業				指標名	貸出冊数				指標種別	成果指標				指標の概要	自動車図書館(2台)で貸出しを行った年間資料冊数		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-				実績	46559	43254	47889	44860	-	-	-						
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-			
						秀峰筑波義務教育学校開校に伴うステーション再編。				改善目標 広報を行い、各ステーションの利用者数を増やすとともに、ステーションの見直しを行い、サービスの充実化を図る。								
市長公約	-				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報している日程表に従い自動車図書館を運行する。</li> <li>・H30年度にステーションの再編をおこなうため、日程の策定と市民への周知を行う。</li> <li>・図書館窓口にて日程表を配布するほか、広報つくば4月号,10月号やHPに日程表を掲載する。</li> </ul>				事業計画 ・市内47ステーションを2台の自動車図書館車で火～金曜日2週間に1度巡回 ・ステーションの見直しを行う。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-													事業費(A)	1,178千円	1,188千円	0千円	0千円
根拠法令等	-													活動実績	運行日数 162日 利用者人数 11,016人			
					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円									
					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円									
					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円									
					一般財源	1,178千円	1,188千円	0千円	0千円									
事業分類	A 任意的事业				成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。</li> <li>・学校新設等に応じた平成30年度日程表ができた。</li> </ul>				人件費(B)	11,003千円	10,674千円	10,687千円					
執行体制	職員のみ									課題	自動車図書館車の老朽化				正職員	従事割合	1.50人	1.50人
事業の目的	市の広大な面積をカバーし図書館のある市中央部と周辺地区における地域間格差を減少させ、地域図書館としての役割の一部を担うため。				事業の概要	市内48ヶ所に設けたステーションに火曜日から金曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出および返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。									時間外勤務	5.00時間	5.00時間	10.00時間
										臨時職員等	有	有	無					
								事業コスト(A+B)	11,156千円	11,862千円	10,687千円							
								H31年度当初積算根拠	-									
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性	-	理由	-	
	H30 環境関連性	-				有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-							
								効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
								総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

事務事業名	03 学校図書館支援事業	指標名	ブックトーク事業参加校				指標種別	活動結果指標			指標の概要	学校訪問ブックトーク参加校(市内小中学校)					
	戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		-	-	-			
総合戦略	- - - -	実績	H29年度	42	45	46	41	-	-	-	その他の指標 -						
	H30年度		引き続き学校図書館支援にあたり、学校図書館の研修指導等については、学校や教育指導課との調整をする。また、図書館で行っている支援事業の参加を推進する。				引き続き学校図書館支援にあたり、学校図書館の研修指導等については、学校や教育指導課との調整をする。また、図書館で行っている支援事業の参加を推進する。										
市長公約	-	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体貸出し</li> <li>職場体験学習</li> <li>ジュニア図書館員</li> <li>学校訪問ブックトーク事業</li> <li>社会科見学</li> <li>司書教諭補助員研修会</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体貸出し</li> <li>職場体験学習</li> <li>ジュニア図書館員</li> <li>学校訪問ブックトーク事業</li> <li>社会科見学</li> <li>司書教諭補助員研修会</li> </ul>				事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体貸出し 99回9,563冊</li> <li>職場体験学習 8校30人</li> <li>ジュニア図書館員 87名</li> <li>社会科見学 4/4 90人参加</li> <li>司書教諭補助員研修会 5/30 89人参加</li> </ul>				上半期活動実績	-				事業費(A)		0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	特になし		成果	学校図書館と連携がとれた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业	課題	今年度は研修会が2回実施され、例年より充実した内容が行われた。今後も教育指導課等と連携をし、継続していきたい。				課題		-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ		事業の概要	学校訪問ブックトーク事業、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施				事業の進捗状況	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	子どもたちが集う魅力ある学校図書館づくりを支援するとともに、司書教諭、司書教諭補助員等をサポートし、子どもたちが学校や家庭で読書に親しむ機会及び学校図書館活動を充実にするため。	事業の進捗状況		達成					改善目標の進捗状況	-				その他特財	0千円	0千円	0千円
			ISO 14001	H29 環境関連性	-					改善目標の進捗状況	-				一般財源	0千円	0千円
H30 環境関連性	-				評価	有効性 中:適切な成果が得られている					人件費(B)		2,931千円	2,843千円	2,843千円		
	H31年度当初積算根拠	-				評価	有効性 -				正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人		
-				評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
-					評価	総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				臨時職員等	無	無	無				
-				評価		総合評価 -				事業コスト(A+B)		2,972千円	2,843千円	2,843千円			
-					理由	-				H31年度当初積算根拠							
-				理由		-				H31年度の方向性							
-					理由	-				-							
-				理由		-				-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	04 図書館ボランティア事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-						
戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	-					
	-				実績	-	-	-	-	-	-		-	-					
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-					ボランティア活動を円滑に進めるため、図書館とボランティア・ボランティアグループ同士の連携を強化する。				ボランティア活動を円滑に進めるため、図書館とボランティア・ボランティアグループ同士の連携を強化する。					-				
	-					-				-					-				
市長公約	-				事業計画	-				-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-					・前年度3月中 ボランティアの募集 ボランティア説明会 各ボランティア見学(新規) ・本年度4月～ 各9つのボランティアで活動開始				・前年度3月中 ボランティアの募集 ボランティア説明会 各ボランティア見学(新規) ・本年度4月～ 各9つのボランティアで活動開始				事業費(A)	31千円	32千円	56千円	0千円	
根拠法令等	特になし					-				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	A 任意的事業				活動実績	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ					-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	図書館事業の支援とボランティア自身の生涯学習の一環とし、ボランティア活動の機会を提供するとともに、図書館の事業拡大の一翼を担う。					・4月からおはなし会、地域文化、地域資料、修理、配架、音訳、点訳、国際文化サービス、児童サービスの9つのボランティアに分かれて活動中 ・会員数132名				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	-				成果	-				-				一般財源	31千円	32千円	56千円	0千円	
	図書館のボランティアに登録し、図書館の支援や生涯学習の一環として、その知識・技能を無償で提供いただく(ボランティア)事業である。					それぞれのグループが活発に活動できた。				-				人件費(B)	1,832千円	1,777千円	1,777千円		
	-					活動日の重複で、活動する会議室の確保、調整が必要				-				正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.25人	
ISO 14001	H29 環境関連性	-				課題	-				-				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
	H30 環境関連性	-					-				-				臨時職員等	無	無	無	
	-				-				-				事業コスト(A+B)	1,900千円	1,809千円	1,833千円			
-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠							
-				有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				H31年度の方向性	-	理由	-		
-				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
-				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	05	視聴覚教材機材の貸出事務 (視聴覚ライブラリー)				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-	-	-	-	-						
戦略プラン	-				実績	-									その他の指標	-					
	-				H29年度				H30年度												
総合戦略	-				改善目標	現況の視聴覚機材・教材を有効に貸出しできるよう広く広報等を行う。				改善目標	現況の視聴覚機材・教材を有効に貸出しできるよう広く広報等を行う。										
	-																				
	-																				
市長公約	-				事業計画	年間を通して、視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム等及び16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を貸し出す。				事業計画	年間を通して、視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム等及び16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を貸し出す。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-														事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円		
根拠法令等	つくば市視聴覚教材機材の貸出しに関する規則														国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	A 任意的事业				活動実績	視聴覚機材の貸出回数：16ミリ映写機9回、ビデオプロジェクター1回 視聴覚教材の貸出数：16ミリフィルム19本、ビデオテープ5本 視聴者数：631名 の実績となった。				上半期活動実績	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ														一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	つくば市内の学校、幼稚園、保育所等を対象とし、視聴覚ライブラリーとして、視聴覚教育への動機づけを図り、豊かな情操教育の推進を目的とする。														人件費(B)	220千円	214千円	214千円			
													正職員	従事割合	0.03人	0.03人	0.03人				
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
事業の概要	図書館の視聴覚資料とは別に所蔵している旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す事業である。				成果	視聴覚教材の貸出回数：計10回 視聴覚教材の貸出回数：計24本 視聴者数：631名 の実績となり、市内幼稚園、保育所等の情操教育の一助となった。				上半期成果	-				臨時職員等	無	無	無			
															事業コスト(A+B)	223千円	214千円	214千円			
															H31年度当初積算根拠						
ISO 14001	H29環境関連性	-				課題	機材・教材の老朽化				課題	-				H31年度の方向性	-	理由	-		
	H30環境関連性	-					事業の進捗状況					達成	改善目標の進捗状況	達成							
							有効性					中：適切な成果が得られている									
				効率性				中：適切な費用対効果が得られている													
				総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	06	つくば市図書館協議会運営事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-									
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度													
	-		実績	-	-	-	-	-	-	-													
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-										
	-			-				平成30年6月30日をもって協議会委員の任期が満了となるため、次期委員を選任する。															
	-																						
市長公約	-		事業計画	つくば市図書館協議会の開催(年3回)				事業計画	・「つくば市市民参加推進に関する指針」に基づき、委員を選任する。 ・つくば市図書館協議会の開催(年3回)				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初						
個別計画	-												事業費(A)	238千円	216千円	330千円	0千円						
根拠法令等	図書館法												活動実績	第1回図書館協議会7月28日開催 第2回図書館協議会12月13日開催 第3回図書館協議会3月7日開催				上半期活動実績	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	-																		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	-																		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	-																		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	C 義務的事業		事業の目的	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機会を設けるため。				上半期成果	一般財源	238千円	216千円	330千円	0千円										
執行体制	職員のみ								人件費(B)	147千円	143千円	143千円											
事業の概要	つくば市図書館協議会の開催(年3回)		成果	図書館協議会にて図書館事業について報告し、意見を受けた。今後の図書館運営に反映させる。				課題	正職員	従事割合	0.02人	0.02人	0.02人										
	-								時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間											
	-								臨時職員等	無	無	無											
ISO 14001	H29 環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	309千円	359千円	473千円								
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			H31年度当初積算根拠	-									
評価	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		H31年度の方向性	-	理由	-											
	-		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

事務事業名	07	図書館資料の収集、整理及び保存事務	指標名	-				指標種別	-									
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		-					
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標		-				
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	H29年度				H30年度				その他の指標		-				
	-	-	-	改善目標				改善目標										
	-	-	-	選書委員会を通してより良い図書資料及び視聴覚資料を購入、整備、保存する。				利用者ニーズを把握するとともに、選書委員会を通してより良い図書資料及び視聴覚資料を購入、整備、保存する。										
市長公約	-												事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-												事業費(A)		36,383千円	36,198千円	36,814千円	0千円
	-												国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	・図書館法 ・つくば市立図書館資料収集及び保存に関する方針												県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
	-												地方債		0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	C 義務的事業												その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円
	執行体制	職員のみ												一般財源		36,383千円	36,198千円	36,814千円
事業の目的		雑誌・紙芝居を含む図書資料及び視聴覚資料を購入・整備・保存することによって図書館利用者の利用に供するため。												人件費(B)		15,294千円	14,876千円	14,845千円
	事業の概要	年間を通して、利用傾向や市民要望を判断しつつ図書資料、視聴覚資料を購入し、利用のため資料を整理し保存する。また、収集及び購入の参考や利用者の資料検索のため資料データの整備や業務を円滑に行うためシステムの保全を行う。												正職員		従事割合	2.00人	2.00人
成果		図書資料の受入を積極的に行い、利用者サービスに供した。												時間外勤務		242.00時間	262.00時間	250.00時間
	課題	書架に余裕がないことで、受入に制限がある。												臨時職員等		無	無	無
ISO 14001		H29 環境関連性												事業コスト(A+B)		51,888千円	51,074千円	51,659千円
	H30 環境関連性												H31年度当初積算根拠		-			
評価	事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況		-	H31年度の方向性		-	理由	-	
	有効性		中：適切な成果が得られている				有効性		-									
	効率性		中：適切な費用対効果が得られている				効率性		-									
総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価		-										



予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

事務事業名		08 図書館の広報事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-							
		-		実績	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略		-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
		-			図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、市広報をはじめとした各種媒体を通し、継続的な情報発信を行う。				図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、広報つくばをはじめとした各種媒体を通し、継続的な情報発信を行う。					-					
市長公約		-		事業計画	-				-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画		-			<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館ホームページの運営管理(随時)</li> <li>広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)</li> <li>南駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月)</li> <li>公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)</li> <li>こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館ホームページの運営管理(随時)</li> <li>広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)</li> <li>南駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月)</li> <li>公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)</li> <li>こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)</li> <li>マスコミへの情報提供</li> </ul>				事業費(A)	305千円	306千円	309千円	0千円		
根拠法令等		特になし		活動実績	-				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類		A 任意的事业			<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館ホームページの運営管理</li> <li>広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)</li> <li>南駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月)</li> <li>公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」8/1句会回覧</li> <li>こどもヨモッカ夏休み前各小学校中学年に配布等</li> </ul>				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制		職員のみ		成果	-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的		図書館が実施している各種事業や運営方針などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進とともに、読書活動を推進するため。			-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要		図書館ホームページの運営管理(随時)、広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)、南2駐車場エレベーターホールへの掲示(毎月)、図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧)・「こどもヨモッカ」(年2回発行・小学校児童及び図書館利用者へ配布)		課題	-				-				一般財源	305千円	306千円	309千円	0千円		
					積極的な情報発信が行えた。Web上で貸出履歴の管理等を行うことができる「マイ本棚」を導入し、平成30年4月からサービスを開始した。				-				人件費(B)	733千円	711千円	711千円			
ISO 14001		H29 環境関連性		評価	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人		
		H30 環境関連性			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-			臨時職員等	無	無	無				
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			事業コスト(A+B)	743千円	1,017千円	1,020千円				
				H31年度当初積算根拠		-													
				H31年度の方向性		理由 -													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	09 図書館の資料の貸出事務				指標名	貸出冊(点)数				指標種別	成果指標	指標の概要	中央図書館資料の貸出冊数(自動車図書館分を含む)					
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
				実績	977889	994775	987419	964123	-	-	-	その他の指標	-					
総合戦略				改善目標	H29年度				H30年度									
				改善目標	・市内在住・在勤・在学の個人及び市内を活動場所とする保育園、小学校等の団体利用者に利用カードを発行し、図書館資料の貸出を行い、調査研究・レクリエーションに供する。 利用者が利用しやすい環境を整える。				・市内在住・在勤・在学の個人及び市内を活動場所とする保育園、小学校等の団体利用者に利用カードを発行し、図書館資料の貸出を行い、調査研究・レクリエーションに供する。 利用者が利用しやすい環境を整える。									
市長公約				事業計画	・利用カードの発行 ・図書資料及び視聴覚資料の貸出し	・利用カードの発行 ・図書資料及び視聴覚資料の貸出し ・Webでの4交流センター図書室での受取りに限定した在庫本の予約サービス実施	事業実施コスト					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画							事業費(A)					34,722千円	35,015千円	25,547千円	0千円			
根拠法令等				活動実績	中央図書館 貸出人数 216,244人 貸出冊数 919,263 自動車図書館 貸出人数 11,016人 貸出冊数 44,860冊	上半期活動実績 -	内訳					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類							成果	図書館資料、記録その他必要な資料を収集整理及び保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。	図書館資料及び視聴覚資料の貸出を行い、利用者の調査研究・レクリエーションに寄与できた。利用者の利便性向上のため、祝日(年間9日)の特別開館を行った。利用者の利便性向上のため、開館時間延長(6日間)を試行し、平成30年4月から土・日曜日の開館時間を午後7時まで延長した。利用者の利便性向上のため、平成30年4月から駐車場の無料化を2時間に延長した。	地方債					0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制				課題	・4交流センター図書室のオンライン化により、市民の利用・要望も増えているため、予算の確保及び蔵書の増加による保管場所について検討が必要である。	上半期成果 -				その他特財					0千円	136千円	152千円	0千円
事業の目的							事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	一般財源					34,722千円	34,879千円	25,395千円
事業の概要				評価	有効性	中:適切な成果が得られている					評価	有効性	人件費(B)					37,293千円
ISO 14001							環境関連性	H29 環境関連性	-	H30 環境関連性			-	正職員				
				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている					評価	効率性		時間外勤務				
							総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-			臨時職員等					有
				理由	-	-					-	事業コスト(A+B)					62,406千円	71,724千円
							H31年度当初積算根拠	-	-	-		H31年度当初積算根拠						
				H31年度の方向性	-	-					-	H31年度の方向性						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

事務事業名	10	調査・研究の支援事務	指標名	レファレンス受付件数				指標種別	成果指標	指標の概要	利用者が図書館窓口、電話、メールにより必要な資料について問合せをした件数			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度	
	-	-	-	-	-	1700	1700	1700	-			-	-	
	-	-	-	-	実績	1756	1739	1794	1630	-				
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度					
	-	-	-	-	改善目標	利用者が調査、研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行う。				改善目標	利用者が調査、研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行う。			
市長公約	-													
個別計画	-				事業計画	・利用者が調査・研究しやすい環境整備 ・資料の収集により、調査・研究の援助				事業計画	・利用者が調査・研究しやすい環境整備 ・資料の収集により、調査・研究の援助 ・国立国会図書館デジタル配信サービスの利用開始			
根拠法令等	図書館法													
事業分類	C 義務的事业													
執行体制	職員のみ													
事業の目的	利用者が調査・研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行うため。				活動実績	参考図書購入冊数 163冊 調査・研究質問件数 1,630件 研修会への参加				上半期活動実績	-			
事業の概要	・参考資料を充実させる。 ・インターネットからの調査・研究の質問受付 ・専門職員を配し資料情報の提供				成果	レファレンスコーナーで、利用者の調査研究の支援が行えた。				上半期成果	-			
					課題	・レファレンスコーナーの役割の周知 ・研修の時間に制約がある。				課題	-			
ISO 14001	H29 環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	H30 環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			
										H31年度当初積算根拠				
											H31年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円
人件費(B)	10,989千円	10,661千円	10,737千円	
正職員	従事割合	1.50人	1.50人	1.50人
	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	30.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	11,142千円	10,661千円	10,737千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	72,857千円	72,955千円	63,072千円	0千円
	総人件費	89,287千円	87,145千円	86,804千円	
	総事業コスト	151,734千円	160,100千円	149,876千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	11 図書返却事業				指標名	返却総数				指標種別	成果指標				指標の概要	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに返却された図書資料の冊数		
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
				実績	70446	83613	107689	111528	-	-	-							
総合戦略					H29年度				H30年度				その他の指標	-				
					改善目標	・返却場所である交流センター等の配送回数等について、適切な設定を行う。 ・市庁舎のブックポスト利用の増加に対し、回収回数を増やすなどの検討を行う。				改善目標	・返却場所である交流センター等の配送回数等について、適切な設定を行う。 ・市庁舎のブックポスト利用の増加に対し、回収回数を増やすなどの検討を行う。							
市長公約	-				事業計画	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポストの返却本を回収し、オンラインの4交流センター図書室の図書返却を配送することにより、市民の利便性向上に資する。				事業計画	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポストの返却本を回収し、オンラインの4交流センター図書室の図書返却を配送することにより、市民の利便性向上を図る。							
個別計画	-					活動実績	返却総数 オンライン4交流センター図書室 89,670冊 大穂交流センター 2,909冊 豊里交流センター 1,802冊 並木交流センター 7,695冊 広岡交流センター 203冊 市庁舎ブックポスト 9,249冊 ・未返却者への通知送付等に努めた。				上半期活動実績	-						
根拠法令等	特になし				成果		図書返却及び配送ルートの見直しを行ったことにより、図書の流通がよりスムーズになった。					上半期成果	-					
事業分類	A 任意的事业					課題	・返却場所を増やして欲しいと要望があるが、配送人員の確保が難しい。 ・休日後には、ポストが満杯になってしまう。				課題		-					
執行体制	職員のみ				事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	
事業の目的	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに図書の返却を受けることにより、市民の利便性の向上に資するため。				事業の概要	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに図書資料の返却ができる事業である。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている			H31年度の方向性	-	理由	-
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				有効性	-						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			効率性	-							
	H30 環境関連性	-				総合評価	-											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	13	オンライン地域交流センター図書室運営事業に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	32,474千円	32,310千円	34,430千円	0千円
	総人件費	3,663千円	3,554千円	3,560千円	
	総事業コスト	36,137千円	35,864千円	37,990千円	

事務事業名	01	オンライン地域交流センター図書室運営事業				指標名	-				指標種別	-					
						目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
市長公約	-				H29年度				H30年度								
個別計画	-				改善目標	・オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の図書資料の収集に努め、蔵書増を目指す。 ・委託先要員と連携をとりサービスの向上を目指す。				改善目標	・オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の図書資料の収集に努め、蔵書増を目指す。						
根拠法令等	-				事業計画	委託要員研修 図書資料の発注 蔵書点検の実施				事業計画	平成31年度業務委託契約準備 委託要員研修 図書資料の発注 蔵書点検の実施						
事業分類	A 任意的事业				活動実績	リーダー研修会 図書資料の発注 図書館情報システムの更新 蔵書点検の実施				上半期活動実績	-						
執行体制	一部委託				成果	委託業者と連絡を密にし、配送ルートの見直しや図書館情報システムの更新を行い、利用者サービスを向上させた。 中央図書館から遠い方が利用しやすくなるよう、また、蔵書の少ない交流センター図書室の地域格差をなくすため、4交流センター(筑波・小野川・谷田部・荃崎)図書室受け取りに限り、Web予約で中央図書館の在架の資料に予約ができるサービスを平成30年4月から実施した。				上半期成果	-						
事業の目的	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することによって中央図書館と4箇所との交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と地域図書館サービスの向上に資する。				課題	蔵書の充実(平成30年度予算は図書備品費各図書室50万円の増額)				課題	-						
事業の概要	オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することによって、中央図書館と4箇所との交流センター図書室との連携を強化する。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠				
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-						
	H30環境関連性	-	-	-	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
												事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
												事業費(A)	32,474千円	32,310千円	34,430千円	0千円	
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
												一般財源	32,474千円	32,310千円	34,430千円	0千円	
												人件費(B)	3,663千円	3,554千円	3,560千円		
												正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	2.00時間	
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	36,137千円	35,864千円	37,990千円		
												H31年度当初積算根拠	-				
												H31年度の方向性	-	理由	-		